

鹿子木文書 目録

番号	名称	年号・年代	発給者・筆者	宛所
1	齋院次官藤原親能置文写并系図	四月十八日 (年不詳)	—	—
2	菊池重治預ヶ状 (菊池重治、野中喜三の奉公に対し五十町を恩補す)	大永四年正月廿八日 (1524年)	(菊池) 重治	野中喜三
3	菊池義宗感状 (菊池義宗、鹿子木親員の内談により、野中左衛門尉の限庄在城の労を賞す)	閏正月一日 (天文3年か、1534年)	(菊池) 義宗	野中左衛門尉
4	鹿子木親員知行目録 (鹿子木親員の知行地の明細)	天文四年 (1535年)	—	—
5	菊池義武感状 (菊池義武、野中主水佑の木山口合戦の功を賞す)	閏五月廿五日 (天文19年か、1550年)	(菊池) 義武	野中主水佑
6	菊池義武感状 (菊池義武、野中四郎に対し詫磨合戦に父 兵部左衛門尉の戦死せるを賞す)	七月八日 (天文19年、1550年)	(菊池) 義武	野中四郎
7	大友義統感状 (大友義統、鹿子木親俊に対し薩州入りにつき兵船調達の労を賞す)	十一月七日 (天正5年か、1577年)	(大友) 義統	鹿子木彦三郎
8	大友義統書状 (大友義統、鹿子木親俊に柳河城主 蒲地鎮並が龍造寺氏に付いたことなどを知らせ、一族の五郎三郎を大友方にとどめさせる工作をするよう求む)	正月十九日 (天正8年か、1580年)	(大友) 義統	鹿子木民部入道
9	大友義統書状 (大友義統、鹿子木親員に田原親貴反逆の模様を報じ油断なきよう求む)	三月五日 (天正8年、1580年)	(大友) 義統	鹿子木三河入道
10	志賀道輝書状 (大友氏の家臣 志賀道輝、鹿子木親員に田原親貴が叛き豊前鞍懸城に拠ることを知らせる)	三月十五日 (天正8年、1539)	(志賀安房入道) 道輝	鹿子木三河入道
11	大友義統感状 (大友義統、鹿子木親俊に対し島津氏に付いた城親賢が拠る隈本城攻めの軍功を賞す)	卯月廿二日 (天正8年か、1580年)	(大友) 義統	鹿子木彦三郎
12	志賀道輝添状 (⑩の大友義統感状を取り次ぐ添状)	卯月廿四日 (天正8年、1539)	(志賀安房入道) 道輝	鹿子木彦三郎
13	鹿子木紹達医道伝授状 (鹿子木紹達、三焦色工墨脈の事を宗波に伝授する)	十月廿七日 (年不詳)	(鹿子木) 紹達	宗波老
14	不二軒宗禪宛行状 (不二軒宗禪 (小代実忠)、鹿子木紹達に小田村の居屋敷を宛がう)	五月十四日 (天正8年、1580年)	不二軒宗禪 (高瀬実忠)	(鹿子木) 紹達
15	不二軒宗禪宛行知行坪付 (⑭の小田村の坪付)	天正八年五月十四日 (1580年)	(不二軒宗禪、高瀬実忠)	(鹿子木) 紹達
16	定本名居屋敷田地坪付 (南郷の内定本名居屋敷二ヶ所と田地について)	永禄十一年正月廿日 (1568年)	—	—
17	大友義統書状 (大友義統、鹿子木親員に城親賢の討伐を依頼する)	八月廿五日 (天正8年、1580年)	(大友) 義統	鹿子木三河入道
18	大友義統書状 (大友義統、鹿子木親員に田原親貴の豊前鞍懸・安岐両城を陥落させたことを報じ、合志親為と相談して手だてするよう伝える)	十月十四日 (天正8年、1580年)	(大友) 義統	鹿子木三河入道
19	大友義統書状 (大友義統、鹿子木親員が合志親為とともに大友氏に属することを賞す)	十二月二日 (天正8年、1580年)	(大友) 義統	鹿子木三河入道
20	龍造寺隆信書状 (龍造寺隆信、鹿子木親俊の帰属を確認する)	二月十八日 (天正9年、1581年)	(龍造寺) 隆信	鹿子木
21	朽網宗歴書状 (大友氏の家臣 朽網宗歴 (鑑康)、鹿子木親員 (寂心) に阿蘇衆が大友氏に叛いたこと、龍造寺氏に同意の衆などを討つことなど、当面の情勢を知らせる)	十月十五日 (天正9年か、1581年)	(朽網) 宗歴	—
22	鍋島信生書状 (龍造寺の家臣 鍋島信生、鹿子木親俊に対し小代親伝と相談し、田尻に対し油断なく対応することを指示する)	十一月廿日 (天正9年か、1581年)	(鍋島) 信生	鹿子木
23	安国寺恵瓊書状 (安国寺恵瓊、鹿子木親直に、肥後国衆隈本にこもるにつき領中近辺村々に往反たやすきよう仰せ付けるべきを命ず)	正月廿二日 (天正15年、1587年)	安国寺恵瓊	鹿子木撰津守